

経営学部 経営学科  
姜 人月（キョウニンゲツ）

日本に留学して、もう3年が経ちました。私の留学生活は、涙があり、喜びがあり、感動がありました。私は、この3年間で視野が広くなり、少し成長したように感じています。

日本へ来たばかりのとき、料理が苦手な私は大変でした。しかし今では、何れ国もの料理ができるほど上手になりました。単純で、幼稚で、頑固で、わがままな私でしたが、大学生活で多くの人たちと接する中で、“責任”や“謙虚”という言葉の意味が理解できるようになりました。

日本に来る前は、両親は「私が一人で海外生活を送ることができるか、苦しくて途中で帰国するのではないかと心配してくれました。その時は私も、大学を卒業できるかどうか自信がありませんでした。しかし、今は違います。大学の先生方からの温かい支援により、いろいろな困難を乗り越えることができました。この3年間で苦労したことは、自分が成長するための“必修科目”であり、社会へ踏み出すための“道”であると思えるようになりました。私を支えてくれた中国や日本の友人にも感謝しています。また、日本での収穫は、多くの国の人や異文化に接し、自分の古い価値観を変えることができたことです。なぜ両親は私を留学させたのか、理由がようやく理解できるようになりました。留学のチャンスを与えてくれた両親に心から感謝しています。

さて、大学の授業は全部日本語で行われるため日本語力が要求されます。授業中しっかりノートをとれば、試験はだいたい合格できますが、良い成績をとろうと思うとそんなに簡単ではありません。私の大学でも、留学生の日本語力をとても重視しています。日本語能力試験N1に合格すれば、4単位と奨学金10万円がもらえます。まだ、N1を取得していない私は、卒業するまでに合格するよう頑張りたいと思います。また、暇な時は、中国の友達と一緒に旅行をします。日本の伝統文化の発祥地奈良、アジアファッションを牽引する東京、商業の盛んな大阪、古い都京都など色々なところに行きました。日本に来る前は、日本と中国とそんなに変わらないと思っていました。しかし、日本で生活してみると、二つの国あるいは二つの民族は類似しているところもありますが、異なるところも多いと思います。例えば、世界中で日本と中国は唯一漢字を使う国であり、発音が違いますが、意味の通じる言葉もたくさんあります。逆に同じ漢字を使っているのに、意味がぜんぜん違う場合もあります。特に、ニュアンスで感じる単語や言い回しなど、日本に来ないと分かりにくいところが多くあります。他にも、日本では、昨日と同じ服を着ると不衛生に思われます。歩きながら食べる人はいませんし、痰を吐いたり、むやみにゴミを捨てる人もいません。年をとればとるほど化粧が濃くなり、いくつの方なのか見分けがつかせません。夫婦が異なる宗教を信仰しても許されます。和尚さんでも結婚できるし、子どもも産めます。学校やアルバイト先では先輩を尊敬し、従うことが当然のようなどころもあります。

このように、日本は東西の文化をうまく融合して、独特な魅力ある文化を創り出しています。自分自身で体験すればその魅力を感じることができます。また、異なる国で留学体験をすることにより自分を大きく成長させることができると思います。留学生活は大きな喜びと意外な収穫があります。